

熊本市南区 まちづくりビジョン

[概要版]



Minami-ku Planning vision

① 南区まちづくりビジョン策定の趣旨

□めざす区の姿やまちづくりの方向性を示すもの

本市は、平成24年4月1日に政令指定都市となり、市民により身近な行政として、5つの区役所が設置され、区ごとの特性を活かしたまちづくりを推進する体制が整いました。

本ビジョンは、地域の魅力や特性を活かした南区のまちづくりを進めるための指針として、めざす区の姿を明らかにし、その実現に向けて、区民、地域団体等と行政が協働で進めるまちづくりの方向性を示すものです。

□南区まちづくりビジョンの目標年次

本ビジョンの目標年次は、10年後の平成34年度とします。なお、本ビジョンは社会環境や区の状況の変化などを踏まえ、中間に見直すこととします。

② 南区まちづくりビジョンの位置づけ

本ビジョンは、区民、地域団体等、行政とが協働で取り組むまちづくりの指針です。

また、第2次熊本市都市マスターplanにおいては、地域別構想として区のグランドデザインが描かれます。

第6次熊本市総合計画における、平成25年度の中間見直しの際に、「南区まちづくりビジョン」と「第2次熊本市都市マスターplan地域別構想」を踏まえ、区別計画として反映されることとなります。

第6次熊本市総合計画 (中間見直し後)

基本構想

【目標年次 平成30年度】

めざすまちの姿
「湧々都市くまもと」

基本計画

【都市整備の方針】

【まちづくりの重点的取り組み】

【分野別施策】

(仮称)【区別計画】

実施計画

南区まちづくりビジョン

【目標年次 平成34年度】

- 区の概要
- 基本理念・めざす区の姿
- 基本目標と取組方針
- 区ビジョンの実現に向けて

第2次熊本市 都市マスターplan

全体構想

【目標年次 平成37年】

都市構想の将来像

「豊かな水と緑、
多様な都市サービスが
支える活力ある
多核連携都市」

地域別構想

※平成24年度に素案作成

整合

反映

整合

反映

調整

③まちづくりの基本理念

私たちの住む南区は、加勢川、緑川などの一級河川が東西を貫流し、雁回公園や塚原古墳公園などの拠点的な公園緑地を有する、自然豊かな地域で、区域の半分以上を占める農地では、米、麦の他、ナスやトマト、花きなどの施設園芸も盛んに行われ、海苔やアサリ、ハマグリなど漁業資源にも恵まれています。

また、熊本藩川尻米蔵跡や六殿神社楼門などの歴史的資源も多く、それらを活かしたまちづくりが活発に行われています。

しかし、近年の地域コミュニティの希薄化や高齢化社会の進展、防災や防犯への対応、子育て中の親の孤立化など課題も多く、このような課題を解決していくためには、自助、共助、公助の役割分担とその意識を高めながら、区民、事業者、地域団体等と行政が協働でまちづくりに取り組むことが求められています。

この、政令指定都市移行という大きな転機に、南区という新たな行政区において、地域における人と人とのつながりを深め、様々な魅力や特性を活かしつつ、もっと住みやすく、暮らしやすい、いきいきとした南区を築き、次世代に継承していきます。



雁回山から見た南区

南区のたからもの



④ めざす区の姿と基本目標



～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～ いきいき暮らしのまち 南区

たくさんの
“いきいき”を
大切にできるまち。
そんな南区にしたいなあ

いきいきとした自然や緑が育まれ
活きの良い水産物、新鮮な農産物がとれ
長い歴史・文化が息づき人々が活発に交流し
暮らしの中に伝統文化のある粹で
子どもから大人までが、安全で健康に生き生きと暮らす

このようなまちづくりを、世代を超えて絆をつくり、南区の魅力を磨きあげ、
地域全体と将来に向かって広げていきます。

市民協働

めざす区の姿を実現するために、6つの基本目標を掲げます。

基本目標
1

農と漁業を 誇れるまち

取組
方針

- 次の世代に農漁業をつなぎます
- 生産者の顔が見える安全安心な農水産物を提供します
- 多彩な農水産物への関心を高め、地産地消を進めます

基本目標
2

歴史・文化を 育むまち

取組
方針

- 地域の歴史や伝統、文化を知り、郷土愛を深めます
- まちの資源として、地域の歴史等の情報を発信し、人々の交流を活発にします
- 歴史や伝統、文化を子どもたちに伝えます

基本目標
3

自然と共生した 住みやすいまち

取組
方針

- 山・川・海に身近に親しみ、豊かな自然を次の世代に継承します
- 花や緑があふれるきれいなまちをつくります
- 公共交通の利便性向上により、利用を促進します

基本目標
4

みんなが健康で 元気なまち

取組
方針

- 一人ひとりが健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む環境をつくります
- 地域の資源を活用し、楽しく運動できる取り組みを進めます
- 高齢者・障がい者の生きがいづくりを進めます

基本目標
5

地域ぐるみで 子どもを育てるまち

取組
方針

- 世代間の交流を深め、子どもたちに思いやりの心を育みます
- 子どもたちがのびのびと学び、遊べる環境をつくります
- 人や地域のつながりを深め、子育てしやすいまちをつくります

基本目標
6

安全・安心なまち

取組
方針

- 地域を知り、防災意識を高め、一人ひとりが行動します
- ネットワークをつくり、地域ぐるみで支えあう体制をつくります
- 河川や水路の改修など治水対策に取り組みます
- 地域で防犯や交通安全活動に取り組みます

⑤ 南区まちづくりビジョン実現への行動指針と推進体制

まちづくりの役割分担と行動指針



(1)市民協働の場づくり

区の特性を活かしたまちづくりについて協議するため、南区の各分野で活動される方々などによる『南区まちづくり懇話会』を設置します。また、まちづくりの目標に応じて、管内の校区自治協議会、関係団体等で構成するネットワーク組織を設置し、まちづくり事業の提案やその取り組みを具体化します。

(2)行政の推進体制

南区において、行政と区民との協働のまちづくりを進めるため、『南区まちづくり推進本部』を設置します。推進本部は、区長を本部長として、区役所内の関係課や出張所で構成し、行政としてのまちづくり事業の提案を行なうとともに、関係団体や関係機関との連携や調整を図り、事業を円滑に推進します。

(3)まちづくりの担い手の育成

まちづくりを永続的に進めていくためには、地域のまちづくりを担う、自治会などの地域団体や市民活動団体などの人材育成が必要です。行政と地域団体等が連携し、まちづくりの担い手の育成支援や交流の場づくりを行います。

ひとりひとりが
南区を好きになり、
自分の役割を果たすことが
大切なんだよ！

